

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成 21 年 2 月 5 日 (2009.2.5)

【公表番号】特表 2008-524871 (P2008-524871A)

【公表日】平成 20 年 7 月 10 日 (2008.7.10)

【年通号数】公開・登録公報 2008-027

【出願番号】特願 2007-548299 (P2007-548299)

【国際特許分類】

H 0 5 K 3/06 (2006.01)

H 0 5 K 1/03 (2006.01)

【F I】

H 0 5 K 3/06 A

H 0 5 K 1/03 6 7 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 12 月 11 日 (2008.12.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

誘電基材をエッチングすることが可能な誘電エッチング液に透過性である第 1 の金属層を有する誘電基材を提供する工程と、

前記第 1 の金属層の暴露部分下の誘電層の部分がエッチングされるように前記誘電エッチング液に前記第 1 の金属層の少なくとも一部を暴露する工程と、

を含み、前記誘電エッチング液が酸化剤と、(1) 約 20 ~ 約 100 グラム / リットルの水酸化ナトリウムおよび (2) 約 60 ~ 約 100 グラム / リットルの水酸化カリウムの少なくとも 1 つを含む塩基とを含む方法。

【請求項 2】

誘電基材をエッチングすることが可能な誘電エッチング液に透過性である第 1 の金属層を有する誘電基材を提供する工程と、

前記第 1 の金属層の暴露部分下の誘電層の部分がエッチングされるように前記誘電エッチング液に前記第 1 の金属層の少なくとも一部を暴露する工程と、

を含み、前記誘電エッチング液が過マンガン酸ナトリウムと、少なくとも 1 つの塩基とを含む方法。

【請求項 3】

少なくとも第 1 の金属層を有する誘電基材を提供する工程と、

前記誘電基材をエッチングすることが可能な誘電エッチング液に透過性となるように前記第 1 の金属層の十分な薄化を引き起こすために十分な時間、前記第 1 の金属層をエッチングすることが可能なエッチング液に前記第 1 の金属層の少なくとも一部を暴露する工程と、

前記第 1 の金属層の暴露部分下の前記誘電基材がエッチングされるように前記誘電エッチング液に前記第 1 の金属層の少なくとも一部を暴露する工程と、

を含む方法。

【請求項 4】

処理表面を有する誘電基材と、

前記誘電基材の処理表面の一部を暴露させるパターン化された第 1 の金属層と、

前記パターン化された第 1 の金属層を被覆する第 2 の金属層と、
を含み、前記誘電基材の処理表面の暴露部分の少なくとも一部が除去されている物品。